

令和四年六月九日提出
質問第一〇八号

自動車整備業が抱える課題に関する質問主意書

提出者
城井
崇

自動車整備業が抱える課題に関する質問主意書

自動車整備業が抱える課題に関して、以下質問する。

一 自動運転車などの普及に伴う整備技術の高度化の必要性が大きくなっており、令和二年四月には特定整備制度が導入され、令和六年十月開始予定として自動車の電子的な検査（OBD検査）の実施も予定されている。自動車整備技術の高度化への対応に対して支援するため、政府は必要な措置を講ずるべきと考えるが、政府の認識を明らかにされたい。

二 これまで自動車整備人材の確保に向けて、政府や関係団体と連携した広報活動や、外国人技能実習制度・特定技能評価制度の活用が課題となっており、労働環境・待遇改善への取り組みも重要と考えている。自動車整備人材の確保を支援するため、政府は必要な措置を講ずるべきと考えるが、政府の認識を明らかにされたい。

三 指定整備工場における継続検査手続きのワンストップサービスの推進や省力化機器などの導入促進などによって、事業所の生産性、効率性を向上させることが課題となっている。自動車整備の事業所の生産性、効率性を向上させるため、政府は必要な措置を講ずるべきと考えるが、政府の認識を明らかにされた

い。

右質問する。